

●施策名

【施策13】地域に根ざした伝統文化を保存・継承し、地域を愛するところをはぐくみます
(関連指標：指標55～指標57 (P57))

- i 重要な文化財の保存・継承と活用
- ii 文化財情報の発信等の推進
- iii 子どもたちの地域の伝統文化を愛するところの醸成
- iv 文化的資源を生かした地域活性化の推進
- v 被災した文化財に対する支援の推進

●代表的な取組の進捗状況

i 重要な文化財の保存・継承と活用

- ・ 国・県指定の文化財を保護するため、文化財所有者が東日本大震災により被災した文化財の修復に要する費用を助成しています。
- ・ 国の登録有形文化財を保護するため、文化財所有者が東日本大震災により被災した文化財の修復に要する費用を助成しています。



旧福島県尋常中学校本館の修復状況
(左が修復前、右が修復後)

iii 子どもたちの地域の伝統文化を愛するところの醸成

東日本大震災及び原発事故の影響により、双葉地区等の多くの県民が故郷を離れ避難しているため、存続の危機にある民俗芸能の継承を目的とし、避難先等で民俗芸能を継承・公開する活動等の費用を助成しています。また、稽古や公演での演目披露の様子を撮影して記録保存しています。



民俗芸能保存会の公演の様子
(ふるさとの祭り 2013)

iv 文化的資源を生かした地域活性化の推進

伝統芸能の担い手の継承意欲を高めるとともに、県民の震災から心の復興を図り、ふるさとへの思いを持ち続けるため、「ふるさとの祭り」を開催しました。

【日程】平成25年9月14日(土)
～15日(日)

【場所】小名浜港アクアパーク
(いわき市)

【開催内容】

〔地域伝統芸能公演〕

被災地の団体や子どもが演じ手となっている団体を中心に公演を開催

〔代表者交流会〕

各団体が抱える問題点について情報交換

v 被災した文化財に対する支援の推進

旧警戒区域の資料館から、一時保管施設に搬出した文化財を保管するための仮保管庫を県文化財センター白河館(まほろん)内に整備するとともに、これらの文化財の整理と展示活用を行います。



旧警戒区域の資料館から
一時保管施設に搬出する様子

●問題点・改善等が必要な項目

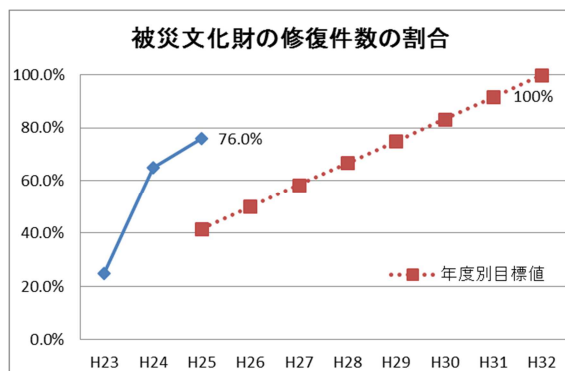
- ① 重要な文化財の保存・継承と活用
 - ・ 被災した文化財の修復に対して、修復に長期間を要する場合の補助財源確保及び自己資金の調達。
- ② 子どもたちの地域の伝統文化を愛するこころの醸成
 - ・ 生活の拠点の県内外への点在化による、民俗芸能の保存のための継続的支援の在り方。
- ③ 文化的資源を生かした地域活性化の推進
 - ・ 復興に向けた地域の現状やふるさとの素晴らしさを学ぶため、子どもたちが地域の方々取材する事業に再構築。
- ④ 被災した文化財に対する支援の推進
 - ・ 旧警戒区域内の資料館外に多数残されている文化財への対応。

●取組の方向性

- ① 重要な文化財の保存・継承と活用
 - ・ 被災した文化財の修復については、文化財所有者において専門家も含めて修復計画や修復方法等について検討してもらい、計画的な修復を進めます。
- ② 子どもたちの地域の伝統文化を愛するこころの醸成
 - ・ 民族芸能の保存・継承のため、民俗芸能保存会と市町村関係部局との緊密な連携を促進するとともに、あわせて民俗芸能のよさを知ってもらうためのPRや県民が鑑賞できる公演の情報を発信します。
- ③ 文化的資源を活かした地域活性化の推進
 - ・ 子どもたちが地域の復興に向けて頑張っている方々取材し、新聞にまとめ、発信するため、地元新聞社等に協力いただき、様々な媒体により情報を発信していきます。
- ④ 被災した文化財に対する支援の推進
 - ・ 旧警戒区域内の公的施設や民間の建物内に残されている文化財の調査、確認を行い、搬出が可能なものを一時保管施設等への搬出を行います。

●主な指標の状況

指標 1	現況値	年度別目標値	評価
被災文化財の修復件数の割合	76.0%	41.7%	順調



- ① 評価の理由

現況値が年々増加しており、目標値以上に達成しているため。
- ② 今後の取組

大規模な修復の場合における所有者の自己資金の確保が課題であるため、今後、民間（各種の財団）の助成事業に関する情報を提供するなど、自己資金の確保を支援していく。